

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	腔内射精障害に関する治療介入の探索的研究
研究責任者	聖隷浜松病院 泌尿器科 脇 政順
研究実施体制	研究施設： 聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象者	【対象群】2005 年 10 月から 2024 年 12 月の間に、当院を受診した射精障害の訴えがある患者さん
研究の意義・目的	腔内射精障害とはマスターベーションでの射精は可能であるが、腔内での射精が不能な病態です。勃起不全とは異なる病態でありながら、腔内射精障害の報告は限られており（泌尿外科 26:1385-1390, 2013. ）、治療については心理的、身体的と様々な原因があるため、標準的な治療は確立していません。（日本性機能学会雑誌:37(1) 9～13, 2022）そのため、本研究では、当院を受診した射精障害の患者さんを後方視的に解析し、腔内射精障害の治療実態を明らかにすることで、今後の標準治療の確立を探索することが目的としています。
研究の方法	【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 【主要評価項目】 腔内射精の可否と腔内射精の達成までの期間 【副次評価項目】 masturbator(医療用射精補助具: TENGA)を用いた射精の可否と射精達成までの期間 【変数】 身長、体重、年齢、主訴、既往歴、ホルモン値、マスターベーションの方法、頻度、病歴、薬剤使用の有無、TENGA を用いた治療介入歴、治療開始日、受診回数、受診期間、TENGA での射精の有無、腔内射精の可否、腔内射精可能日
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 泌尿器科 脇 政順 TEL:053-474-2222(代表) 泌尿器科外来 9:00～17:00 平日